



発行所 岡山県立岡山芳泉高校
同窓会事務局
責任者 丸川 克 志

さらなる 進化を目指して

創立三十周年にあたって

同窓会長 中里 健 一



同窓会員の皆様におかれましては、ご健勝にて各
界で活躍の事と存じます。
平成十五年の九月より同窓
会の会長に就任し、会設立
三十周年にあたりご挨拶申
上げます。
会設立三十周年を迎え会
員数も約一万二千六百人と
巨大な組織になりました。
二十周年のときに行われた
定款・諸規則の見直し、常
任理事制度の導入、全体理
事会の開催等機構整備は完
成し、各学年の同期会と総
論を受けて、文部科学省は
「確かな学力の向上のため
の二〇〇二緊急アピール
」を公表し、新しい教育
の方向性を提言しました。
しかし、ゆとり教育を前面
に打ち出すあまり、小中

芳泉高校同窓会の皆様におかれましては、益々御健勝にて御活躍のことと拝察いたします。
さて、私は平成十六年度末をもって定年退職されました日笠敏前校長の後任として、総社南高校から転任してまいりました木口と申します。歴代校長先生方が嘗々として築き上げてこられた本校の歴史と伝統を受け継ぎ、さらなる発展・進化を遂げるべく微力ながら最大限の努力を傾注する所存でありますので、同窓生の方々のご支援を賜りますようお願い申し上げます。
さて、現在は国のレベルでも県のレベルでもあらゆる面で改革の必要性が叫ばれており、教育界もその例外ではありません。二年前



御挨拶

学校長 木口 勉

学校の学内内容を三
十%削減したために、教育
関係者や保護者から「この
ままでは子供たちの学力が
低下してしまう」という大
変な懸念が寄せられること
になりました。こうした世
界に自由業交流会（法曹界
を中心として弁護士、司法
書士、会計士等による職種
で構成）による無料相談会
十一月には文化講演会を
そして八月には全体の総会・
式典を予定しております。
今年は一期生が卒業して三
十年、同期会を同時開催致
します。一期生の皆様是非
御参加下さい。そして総て
の事業が終了した時点で、
記念誌として「芳友」の発
行を予定しております。三
十年の記念事業の遂行に
あたり、二十周年の時と同
様に参加動員に対して各学
年の理事の協力を仰いでお
りますが理事の出席が得ら
れない期があるなど課題も
ありますが、頑張つて三十
周年を盛會裡に、そして四
十年に繋いで行きたいと
思っております。同窓会会
員一同の益々の御支援・御
協力をお願い致します。
最後になりましたが、日
頃の同窓会活動に対し、多
大な御支援を賜つていま
す母やPTAを始めとする
多くの関係者の方々に對し
まして心から御礼を申しあ
げますと同時に、今後とも
尚一層の御指導御鞭撻を賜
りますようお願い申し上げます。

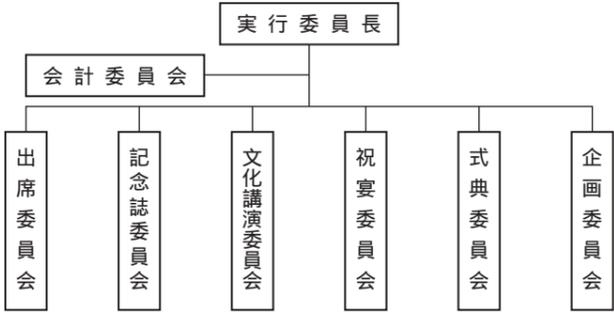
月自由業交流会（法曹界を中心として弁護士、司法書士、会計士等による職種で構成）による無料相談会十一月には文化講演会をそして八月には全体の総会・式典を予定しております。今年は一期生が卒業して三十年、同期会を同時開催致します。一期生の皆様是非御参加下さい。そして総ての事業が終了した時点で、記念誌として「芳友」の発行を予定しております。三十年の記念事業の遂行にあたり、二十周年の時と同様に参加動員に対して各学年の理事の協力を仰いでおりますが理事の出席が得られない期があるなど課題もありますが、頑張つて三十年を盛會裡に、そして四十年に繋いで行きたいと思っております。同窓会会員一同の益々の御支援・御協力をお願い致します。

同窓会 この一年の活動

同窓会係

今年八月にせまった同窓会の三十周年記念事業に向けて、同窓会員のより一層の協力を賜り、同窓会全体がより活動的な組織になつていくことを願い、平成十六度の活動報告をいたしました。
一 平成十五年度会務報告・アーケホテルで同期会開催
二 役員改選
三 支部設立について
四 卒業生と語る会
五 同窓会総会・十一期生懇親会が開催された。ご来賓・会員併せて百名を超える出席の上、次の議案について審議した。
六 芳友の発行
七 芳泉高校の近況
八 八月十七日、現二年次生を対象に、大学在学中の本卒業生による「卒業生と語る会」を芳泉高校にて開催した。
九 卒業生と語る会
十 第二十五期生同期会
十一 センター試験・岡山大学入試激励ポスター作成（一月）
十二 芳泉高校同窓会三十周年記念事業
十三 山陽新聞広告掲載（二〇〇三年十一月三日掲載）
十四 芳泉高校（PTA）への寄贈（第三棟・特別教室エアコン設置）
十五 記念行事
十六 文化講演会・法律相談会（自由業交流会）
十七 芳友の発行
十八 全議案とも、出席者の多数の賛同を得て提案通りに承認された。続いて、報告事項として、次の項目について説明が行われた。
十九 各支部の活動状況
二十 芳泉高校三十周年記念事業
二十一 芳泉高校の近況
二十二 八月十七日、現二年次生を対象に、大学在学中の本卒業生による「卒業生と語る会」を芳泉高校にて開催した。当日は二十八期生を中心とする卒業生が、大学生生活や高校時代の学習などに話をして話し、熱心な質疑応答がなされた。
二十三 十月二日、常任理事会を開き、本年度総会の反省及び来年度以降の同窓会の運営などについて話し合った。
二十四 十一月二十六日、常任理事会を開催し、芳泉高校同窓会三十周年記念事業実行委員会を発足した。
二十五 以上が平成十六年度、同窓会の活動の流れである。

30周年記念事業実行委員会・組織図



創立30周年記念事業一覧

- 同窓会会員名簿の発行（平成 15 年 11 月発行）
- 岡山芳泉高校 30 周年の山陽新聞広告掲載（平成 15 年 11 月 3 日）
- 岡山芳泉高校空調設備新設・移転のための寄付（平成 16 年 11 月 1 日）
- 自由業交流会支部による無料相談会（詳しくは裏面をご覧ください）
- 記念式典・祝宴（詳しくは裏面をご覧ください）
- 文化講演会の開催（詳しくは裏面をご覧ください）
- 記念誌「芳友」の発行（平成 16 年 1 月発行予定）

同窓会活動における個人情報の取扱について

個人情報保護法の施行に伴い個人情報に関する国民の意識も高まっています。最近、会員名簿の発行を中止する同窓会もあるようですが、会員名簿は同窓会会員相互の親睦を図る上で必要なものであると考えますので、発行にご理解をいただきますようお願い致します。また、会員名簿から自己の個人情報の削除を求める会員の方もおられますが、個別に対応させていただきます。なお、芳泉高校同窓会は同法の適用を受ける事業者には該当しないと考えますが、同法の趣旨に鑑み、個人情報の取扱には十分な注意を払いたいと考えます。皆さんも、会員名簿を会員相互の親睦以外のことを利用したり会員以外の第三者に提供しないようにしましょう。

いずみ

「岡山に芳泉あり」これが母校岡山芳泉高校三十年間の成果であり、これまでにの結論が一言に集約されている。地方のごく普通の高校でありながら、全国の学校の中に於いても決して埋もれることなく、常に「進取の気概」を胸に抱き、進化を重ねてきたことの証明なのである。「鍛錬・節度・創造」の学校目標は、三十年の歳月に充分耐え得るものであり、また「気宇広大の人物」を育成する初代大原利貞校長の指針も、自己を見失いがちな時代だからこそ、かえって輝きを増やして、「味わい、楽しむ」時期を迎えることができようになったのではないだろうか。支部設立や会員相互のネットワークの構築は、今後の人生においても必ず有形無形の彩りを与えてくれるはずである。だからこそ、今一度、同窓会に対して、自分として何が出来るのか、と考える時期が訪れているのだらう。自己のフロンティア精神を具現するために、混沌とした時代であつても一人輝いて駆け抜けていくエネルギーをいままで維持しておきたい。これまでの関係各位に対して感謝を述べるとともに、これからの一層の進展を祈念しつつ、改めて、ここに「同窓会創立、三十周年」を祝いたい。



29期生寄贈洋風庭園ステージ